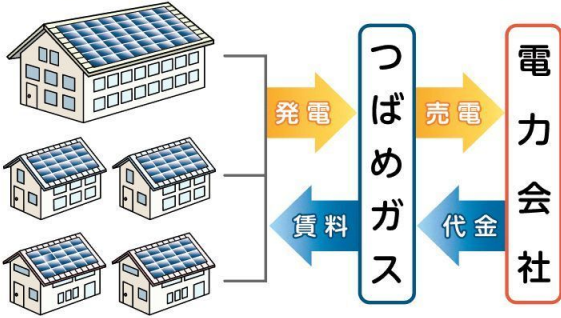


民家屋根借り 太陽光発電

LPガス販売のつばめガス（岡山市南区福田）は、民間のアパートや一戸建て住宅の屋根を借り上げ、太陽光発電パネルを設置する事業を年内にもスタートさせる。岡山県と広島県東部で約3万戸の顧客とのパイプを活用。電力は中国電力に売電し、住宅の所有者には賃料を支払う。（萩原聡）

つばめガス 年内にも事業スタート

太陽光発電事業のイメージ図



7月に始まった再生可能エネルギー買い取り制度を受け、こうした太陽光発電用の「屋根借り」はリース会社や商社などが工場や倉庫といった施設で取り組む動きが広がりつつあるが、「一般の住宅では珍しい」（つばめガス）という。

計画では、同社の顧客のうち、太陽光発電に適した南向きの屋根があるアパートや住宅などの所有者に提案する。パネル設置

費は同社が負担するため、所有者は自己負担なしに賃料を得られる。賃料や設置期間は個別に決める。

同社の子会社で自然エネルギー事業を手掛けるエリス（同福田）が営業やパネル設置といった事業全般を担当。セミナーなどを通じてLPガスの販売先ではない顧客の取り込みも図る。

太陽光発電事業ではほかに、一般から募った出資金でメガソーラ

売電、所有者に賃料

顧客に提案、設備費負担

ーなどを建設して売電収入で配当金を贈つファンド創設や、町内会などの地域単位で小規模な発電設備を設けて売電収入を分配する共同事業も計画している。

つばめガスは2009年から太陽光発電パネルの施工・販売を展開しており、桑原社長は「培ったノウハウを生かせる。顧客であるアパート経営者らに収入アップ策として提案したい」と話している。

同社は1950年創業、72年設立。資本金1億円。売上高約25億円（12年3月期）。従業員約90人。